

工事着手前の篠窪バイパス(破線がバイパス整備区間)

祝 開 通

県道708号(秦野大井) 篠窪バイパス

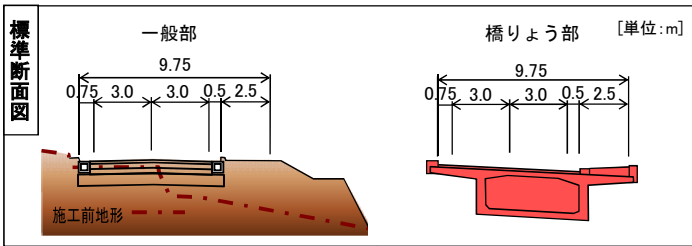
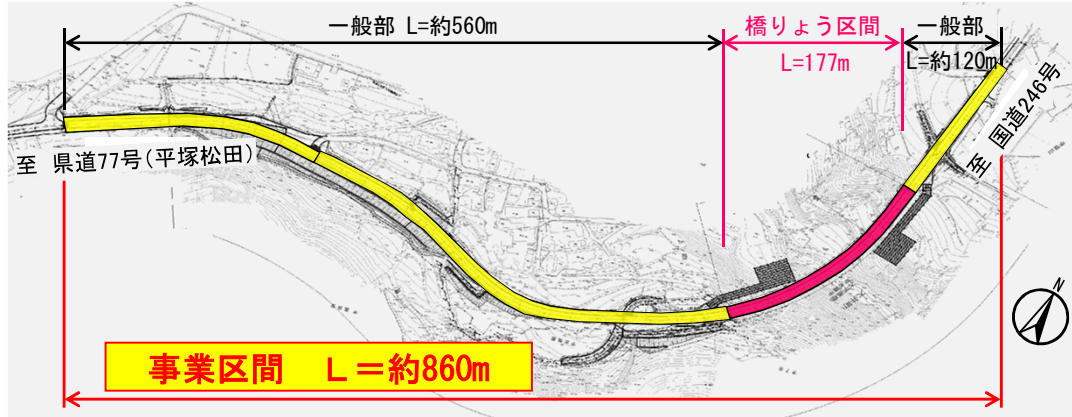


事業概要

県道708号（秦野大井）は、国道246号[秦野市柳町]から県道77号（平塚松田）[大井町山田]に至る延長約6.1kmの秦野市と大井町を結ぶ唯一の幹線道路です。

丘陵部に位置する集落の生活道路となっている現道区間は、特に幅員が狭く、線形も屈曲しており、人家連担の区間もあるため、バイパス整備により車両の円滑な通行や現道沿線の生活環境の向上等の事業効果が期待できます。

事業計画全体図



事業概要

事業延長	L=約860m
事業期間	平成11年度～平成29年度
標準幅員	W=9.75m (車道3m×2車線、歩道2.5m(片側))
道路規格	第3種第3級
設計速度	40km/h

現道の状況



幅員が狭く、歩道が未整備の状況



屈曲箇所(曲線半径 R=32)

バイパスの開通により期待される主な事業効果

- 1) 地域の交流・連携を支える幹線道路ネットワークの強化
- 2) バイパス整備による車両の円滑な交通の確保
- 3) 歩道整備による歩行者・自転車の安全性の確保

橋りょうの整備状況



着手前の状況



P1縦壁の建設状況



P1柱頭部の施工状況



張出部の施工状況

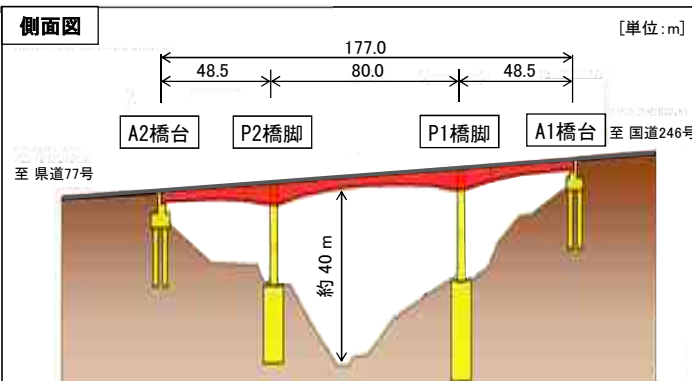


中央併合部の施工状況



上部工完成

橋りょう区間計画図



橋りょう諸元

上部工形式	
橋	PC3径間連続ラーメン箱桁橋
橋長	L=177m
橋幅員	W=10.75m
下部工形式	
橋台	逆T式橋台
	深礎杭基礎φ2m
橋脚	壁式橋脚
	大口径深礎杭基礎φ8.5m

しのくぼおほし 篠窪大橋

普通河川中村川を渡河する橋りょうを新たに架設し、橋名を「篠窪大橋」としました。

本橋りょうは、橋脚から左右に橋体を伸ばしていく張出し架設工法で施工しました。

この工法は、ベント架設用の栈橋やベント設備等が不要であり、山間部や河川上での施工性に優れているという特徴があります。



架設前(仮設構台設置後)



完成

大井町側から秦野市側を望む